暁　鐘　☆1学年通信☆

小樽潮陵高校
1学年通信
第　29　号
2014. 12. 19 (金)

□ 冬期講習 ～“２年生０学期”への足固め！

明日から冬休みが始まります。「冬休み頑張るぞ！」と考えていると思いますが，年末・年始は意外と落ち着かない日々が続き，なかなか思う通りに学習できないものです。しかし，１年冬休みが明けると「１年生３学期＝２年生０学期」，いよいよ２年生への準備期間に入ります。ですから，この冬休みはこれまでの学習活動を振り返り，国語・数学・英語を中心にしっかりとした土台を作ることが大切になります。

また，冬休み明けには「実力テスト」，そして「進研模試」とみなさんの将来を占う意味でも大切な試験も控えております。

これらを勘案し，冬期講習を有効活用して，実力アップを図りましょう！

（１）時間割

前期はクラス単位での実施です。

一方，後期はクラス単位ではありません。クラスに掲示した受講者名簿で各自講座名を確認し，何時間目にどの教室で受講するのか必ず確認してください。

□ 前期(12月21日(日)～12月26日(金)[6日間])

実施教室	１Ａ	１Ｂ	１Ｃ	１Ｄ	１Ｅ	１Ｆ
８：２０ ～９：４０（８０）	国語Ａ ３９名	英語Ｂ ３９名	数学Ｃ ３８名	数学Ｄ ３８名	国語Ｅ ３６名	英語Ｆ ３５名
９：５５ ～１１：１５（８０）	英語Ａ ３８名	数学Ｂ ３６名	国語Ｃ ３９名	英語Ｄ ３８名	数学Ｅ ３７名	国語Ｆ ２９名
１１：３０ ～１２：５０（８０）	数学Ａ ３９名	国語Ｂ ４０名	英語Ｃ ３９名	国語Ｄ ３７名	英語Ｅ ３７名	数学Ｆ ３５名

□ 後期(1月9日(金)～1月14日(水)[6日間])

実施教室	１Ａ	１Ｂ	１Ｃ	１Ｄ	１Ｅ	１Ｆ
８：２０ ～９：４０（８０）	英語１ ３４名	数学１Ｍ ４０名			数学１Ｔ ４１名	
９：５５ ～１１：１５（８０）	数学２ ４０名	国語２ ４０名			英語２ ３２名	
１１：３０ ～１２：５０（８０）	数学３ ４０名	英語３ ４０名			国語３ １６名	

（２）注意点

① 体調不良等でやむを得ず遅刻や欠席する際は，普段と同様８：１０までに連絡をお願いします。また，公欠等あらかじめ欠席がわかっている場合は，講習を担当する先生に早めに連絡しましょう。(無断欠席は言語道断です！)

なお，欠席連絡は以下の電話番号までお願いします。

平　　日　０１３４－２２－０７５４（学校代表）

土日祝日　０１３４－２１－６６０８（進路指導室直通）

② あらかじめテキストを配布している科目については，しっかり予習をして臨みましょう。また，その日のうちに復習は完了させましょう。

③ 理解できなかった問題については，お互い教え合ったり，先生に質問するなど，しっかり解決する習慣をつけてください。

④ 空き時間のある者は，空き教室を利用して自習するなど，時間の有効活用に努めましょう。

⑤ ３年生と時間帯が異なります。特に前期は多くの３年生が１月のセンター試験を目指し最後の追い込みで必死に学習しています。休み時間や午後の２階での私語等は慎みましょう。協力をお願いします！

□ 実力テスト
～ 冬休みの学習成果の力試し「第１弾」

冬期休業明けの１月１６日（金）及び１９日（月）の２日間に渡り，「実力テスト」が実施されます。各教科の出題範囲及び時間割は以下の通りです。

出題範囲及び学習のアドバイス

英語（８０分）

	分野	範囲	形式、注意点	配点
1	単語	速読英単語21～30	形式指定なし　pp114～160 長文含め，英語が書けるレベル	２０％程度
2	総合	週末課題	Crossbeam B2 10～11	１０％程度
3	総合	Newsbreaks	全て，様々な形式	３５％程度
4	聴解	なし	リスニング（実力問題）	１０％程度
5	応用	なし	初見の問題	１０％程度
6	総合	教科書7課	宿題プリントなどから（自由英作文を含む）	１５％程度

補足事項

- 速読英単語は各自先を進めてください。試験は範囲内から出します。長文を含みます。
- 文法もcrossbeamに出てくる範囲内で，基本的な問題は出します。よく学習しておいて下さい。
- 課題のNewsbreaksは総合的に出題します。多読の意味もあるので山を張らないように。復習に力を入れ，意味を考えながら音読もしましょう。前回は全ての課から出題されました。
- リスニングは実力問題です。教科書や手持ちの教材をシャドーイング（意味を考えながら）して慣れておきましょう。
- 応用問題は初見の英文です。実力を試しましょう。
- 教科書７課は裏表1枚の提出用プリントを自己採点して提出。内容と合わせ，文法語法なども含めて出題します。
- 自由英作文は，一定語数書いてください。

学習アドバイス

- 実力テストで努力できる部分は速読英単語，crossbeam，Newsbreaks，教科書Lesson７です。やれることを精一杯準備して臨んでください。ひたむきな努力が明日を開きます。
- ノート作り（作業）に時間をとられないようにしてください。暗記していくこと（勉強）に時間を費やしましょう。作業（ノート作り）は勉強ではありません。
- 覚えたことは忘れます。忘れても落ち込むことなく，繰り返し勉強して下さい。忘れそうな頃に読み返して勉強し直すことが大切です。
- 本当に力がつき始めるのは５～６回繰り返し同じものを勉強した時です。最初の１回をやり終えるのに長時間がかかったとしても繰り返すうちに費やす時間は短くなります，そして効果が上がります。新しい発見があります。
- 上記補足事項を参照にして，すぐに机に向かいましょう。

数学（１００分）

	分野	形式	配点
1	小問集合	小問	２０点
2	２次関数	記述	１６点
3	２次不等式	記述	１６点
4	三角比	記述	１６点
5	空間図形の計量	記述	１６点
6	確率	記述	１６点

学習アドバイス

模擬試験同様，１及び２～６の序盤は基礎・基本の定着を確認する問題が含まれています。つまり，実力テストですから，各問，完答は難しいですが，書けるところが必ずあります。その量をどう増やすかが大切です。その実現のためにも教科書や４ＳＴＥＰ，冬期休業中の課題（青チャート）等を中心に，基礎から発展まで計画的に取り組みましょう。

裏面に続く

国語（８０分）

	分野	範囲	配点
1	評論	オリジナル問題	２５点
2	小説	オリジナル問題	２０点
3	古文	オリジナル問題と古文単語330の第一章読解必修語（p26～70）	３０点
4	漢文	オリジナル問題と漢文読み・意味最重要語50	２５点

※当初予定していた「漢字マスター3000」からの出題は今回取りやめます。

学習アドバイス

① WINSTEP現代文１　７～９の評論問題と１６～１８の小説問題
② WINSTEP古典１　１３～１４の古文問題と２１～２４の漢文問題
③ 漢文読み・意味最重要語５０
④ 古文単語３３０の第一章読解必修語（ｐ２６～７０）

上記①～④は講習の範囲または冬休み課題の範囲または実力テストの範囲になっているので，しっかりと学習すること。特にWINSTEPについては，ただ設問を解くだけでは力がつきません。間違った部分をしっかりと自己採点し，訂正することで自分の課題が見えてくるはずなので，後処理をしっかりやりましょう。また，古文に関しては実力テストの範囲以外の古文単語も少しでも覚えていくことが自信につながります。

漢文においては，特に重要な句法である「疑問形」「反語形」について，授業に先駆けて予習することが効果的だと思います。

現代文は後期講習をとっていない生徒が多いので，取っていない生徒は特に年明け実力テスト前の時期に定期的に設問を解くようにしましょう。特に前々回，前回の進研模試等で評論分野が特に弱い生徒と小説分野が特に弱い生徒が分れている傾向があったので，自分の弱点の分野の課題を意識し，設問に取り組みましょう。

時間割

1月16日(金)	1月19日(月)
大掃除 始業式	英語(80) 8:35～9:55
	休み時間(30)
進路調査(20) 10:20～10:40	3校時以降は 通常授業
国語(80) 10:40～12:00	
昼休み(40) 12:00～12:40	
数学(100) 12:40～14:20	

※ １月１９日（月）３校時以降の時間割は各クラスで発表されますので，確認してください。

□ 進研模試１月
～ 冬休みの学習成果の力試し「第２弾」

実力テストの翌週の日曜日，１月２５日（日）には，１学年最後の全員模試である「進研模試１月」が実施されます。出題範囲は以下の通りです。

１　実施予定日

平成２７年１月２５日（日）

２　時程

８：２０	入室
８：３０～　８：４０（　１０分）	受験カード記入
８：４０～１０：００（　８０分）	英語
１０：１５～１１：５５（１００分）	数学
１１：５５～１２：４０	昼食
１２：４０～１４：００（　８０分）	国語

３　試験範囲

出題教科	出題科目・範囲	出題方針
国　語	［必答問題］ 「現代文・評論」 「現代文・小説」 「古文」 ［選択問題］ 全員「漢文」を選択	１年間の学習事項が身に付いているかどうか的確に把握することができる出題内容になっています。古文は文法において，基本的な助動詞までを出題範囲としています。
数　学	［必答問題］ 「数と式」 「２次関数」より３題 ［選択問題］ 全員「図形と計量」「確率（条件付き確率は除く）」を選択	これまでに学習した分野の定理・公式など重要事項がどれだけ理解できているのかを，また，それを応用して問題を解くことができるのかを確認する内容を出題します。１年生での学習の総まとめができる内容となっています。
英　語	［選択問題］ 全員「リスニング」を選択 ［必答問題］ 「発音・アクセント」 「文法・語法」 「長文読解」（２題） 「表現力」	１年間で学習した基本事項の定着度を確認します。必答問題としては，発音・アクセント，文法・語法，長文読解，表現力を出題します。また，リスニングも出題しますので，聴きとり能力についても評価が可能です。

□ 学研ハイレベル模試
～ 冬休みの学習成果の力試し「第３弾」（予告）

進研模試の２週間後の２月７日（土）には，「学研ハイレベル模試」を予定しております。こちらは希望者のみの受験です。各予備校で「ハイレベル模試」を実施しておりますが，１年生実施の中では今回実施予定の「学研ハイレベル模試」が最も受験者が多く，上位層の学力比較に適している模擬試験です。

進研模試に比べ，問題の難易度も高く，受験校も実際の受験時に勝負するであろう全国のライバル校が中心となります。

本校でもここ数年は６０～７０名程度の受験者がチャレンジしてます。小樽商科大学レベル以上の志望校を考えている者はぜひ受験しましょう！（詳細は冬期休業後にお知らせします）